

平成30年度第4回 新小樽市立病院改革プラン評価委員会 議事概要

日 時 平成30年10月22日（月）午後6時30分～午後6時45分
会 場 小樽市立病院 2階講堂
出席者 委員長 伊藤一氏（小樽商科大学商学部 教授）
副委員長 中村博彦氏（中村記念病院 理事長・院長）
委 員 土橋和文氏（札幌医科大学附属病院 病院長・教授）
高野拓也氏（公認会計士高野事務所 公認会計士・税理士）
夏井清人氏（小樽市医師会 理事）
山崎範夫氏（小樽商工会議所 専務理事）
病 院 局 並木病院局長、近藤院長、馬淵統括理事、久米田理事・副院長、
信野理事・副院長、高丸理事・副院長、萩原理事・看護部長、
金内主任医療部長・院長補佐、金子事務部長、白井薬剤部長、
金谷副看護部長、田中検査科室長、保科地域医療連携室次長、
佐藤リハビリテーション科主幹、南出臨床工学科主幹
事 務 局 佐々木事務部次長、澤里事務部主幹、柴田事務課長、鈴木経営企画課長、
三田医事課長、堀合診療情報管理課長

【1 開会】

（委員長） お晩でございます。本日も多忙のところお集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から、「平成30年度第4回新小樽市立病院改革プラン評価委員会」を開催いたします。

【2 協議】

（委員長） それでは、次第2番目の「協議」に入ります。

皆様方に事前にお配りしていますが、評価報告書（案）については、これまで開催した3回の評価委員会で皆様方から出していただいた質問や意見、それに対する病院からの回答をベースに私の方で作成しました。また、評価報告書作成に当たり、必要であろうと感じたところについては病院側にヒアリングをして追加もしています。

この評価報告書（案）について本日の委員会で協議し、修正すべき箇所があれば修正して、後日、完成版を並木病院局長へ私からお渡しするということとなります。

本年度は今回で最後ですので、できれば修正等のご意見を出していただいた後に、修正後の文章・文言もこの場で決めたいと思っていますので、その点もよろしくお願ひします。

それでは早速入りたいと思います。評価報告書（案）の表紙をめくっていただき、【目次】、【添付資料】などが1ページにあります。2ページの【本報告の目的】、【本委員会の評価の方法】は事務局に作成を依頼しましたので間違いはないと思います。

3ページから評価についてとなります。【項目別評価】のⅠ.平成29年度の取組状況ということで、1.民間的経営手法の導入：総合評価【B】ということになりま

した。これに関しては、各項目において色々なご意見等をいただき、DPC のところも非常に細かく議論していただきましたので、報告書に加えることにしています。この内容に関してはいかがでしょうか。

(各委員 発言なし)

(委員長) それでは、承認いただいたということで、次の4ページに入ります。2.経費削減・抑制対策：総合評価【C】となっています。なかなか進んでいないということもあり評価が厳しくなっていますが、今後に向けて着実に改革を進めていただくということを含めて議論しました。この内容に関してはいかがでしょうか。

(各委員 発言なし)

(委員長) それでは、承認いただいたということで、次の5ページに入ります。3.収入増加・確保対策：総合評価【A】となっています。各種の活動や数値も非常に良く、病院側の努力がうかがえます。若干ではありますが、KPI の設定数値が緩い項目もありましたのでその点も記載して、今後、この数値の検討を進めていただきたいと思います。この内容に関してはいかがでしょうか。

(各委員 発言なし)

(委員長) それでは、承認いただいたということで、次の4.その他：総合評価【B】ですが、意識改革・人材育成等に関する項目を述べさせて頂きましたが、この内容に関してはいかがでしょうか。

(各委員 発言なし)

(委員長) それでは、承認いただいたということで、次の6ページのⅡ.平成29年度の経営指標に入ります。

1.収支改善に係るもの：総合評価【A】ということで、非常に良い成績であったということになるかと思えます。次の2.経費削減に係るもの：総合評価【B】、3.収入確保に係るもの：総合評価【B】となっていますが、この内容に関してはいかがでしょうか。

(各委員 発言なし)

(委員長) それでは、承認いただいたとします。なお、7ページには「総じて」ということで、各種アクションプランにおいて、実際に実現されている「落ち穂拾い作戦」などの取組を記載していますので、今後も進めていただきたいと思います。

次の4.経営の安定性に係るもの：総合評価【A】ということで、企業債残高に関して記載しています。この内容に関してはいかがでしょうか。

(各委員 発言なし)

(委員長) 最後8ページには、【今後実現すべき課題】ということで、これまでの議論に出てきました1.「地域医療支援病院」の実現に向けて、紹介・逆紹介率がまだ十分な値になっておらず、その辺りだけが残った課題となっています。この点に関しては、紹介率の目標数値を現年度の30%を次年度は40%と段階的に上げていく形で60%を実現していただきたいと思いますということに記載しています。この内容に関してはいかがでしょうか。

(各委員 発言なし)

(委員長) 次に、2.「総合入院体制加算」につきましても、今後、これを獲得するための努

力等を検討していただきたく記載しています。この内容に関してはいかがでしょうか。

(各委員 発言なし)

(委員長) 最後の 3.「経営の効率化」につきまして、色々な数値等で提示しており、今後、効率化に関して目標を高めながら進めていただければと思っています。委員の皆様方との色々な議論等を踏まえて記載いたしました。この内容に関してはいかがでしょうか。

(各委員 発言なし)

(委員長) 全体を通して何かお気付きの点などがありましたらお願いします。

(各委員 発言なし)

(委員長) これで、内容的には承認いただいたといたします。多少の文言等の変更があるかと思いますが、この点に関しては一任させていただければと思っています。

(委員長) それでは、次第 3 番目の「その他」に入ります。今回が本年度の評価委員会の最終回となりますが、これまでを通じて何かございますか。

(並木局長) 今年度は新小樽市立病院改革プラン評価委委員会を 4 回開催していただきまして本当にありがとうございました。皆様方から適切で厳しいご指摘をいただきまして非常に勉強になりました。全職員にも当院がどういった状況にあるのかということを示すとともに、「これから改革していかなければならない」と伝えておりますので、より一層努力をして改善していきたいと思っています。

特に、経費削減については、SPD の問題など盛んに取り組んでいるところで、何とかできるだけ対応していきたいと思っています。もう一つの問題として、紹介・逆紹介率が 30% 台ということで、本日の評価委員会前にも院内の会議で報告があったのですが、ようやく 4%~5% の上昇となってきましたので、これも各病院あるいはクリニックの先生方の所に頻繁にお伺いしながらこの率を伸ばしていきたいと思っています。これが当院の役割だと思っていますので、すぐには上昇しないかもしれませんが、ある程度まで行くと一気にいけるような形にしていきたいという気持ちです。色々な病院の先生方に聞きますと、「すぐにはいかないけど努力しかない」と言われますので、努力を続けて委員の皆様方や市民の期待に応えたいと思います。本年度の評価委員会は今回で終わりますが、また来年度、再来年度と続きますので、皆様方に色々ご指導を受けることになると思いますのでよろしく願いいたしたいと思います。本日はありがとうございました。

(委員長) 並木局長、ありがとうございました。

では、閉会に当たりまして一言申し上げます。新しい病院になってから初めての年度の委員会ということで、数多くの視点を挙げていただきました。本当にありがとうございました。今後もより良い経営ができますように委員会として一助になればと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。特に、委員の皆様方、病院の関係者の方々、ご協力誠にありがとうございました。

では、これにて本年度の評価委員会を終了いたします。ありがとうございました。

以上